



まちの電気屋さんが教える 家電をうまく使うコツ！

- 活動時期 → 通年
- 活動場所 → 高知
- 主な活動メンバー：大原さん



(家電を上手く使うコツ)

ポイントは家電の“環境”を良くしてやること。人も家電も同じ。
そうすれば機械の負担も軽くなり、無駄なく省エネに利用できる。

◆エアコンを上手く使うコツ

- ・フィルターはマメに掃除し、室外機は熱交換が良くなるよう風通しを良くする配慮を。
- ・フィルターを掃除しても冷えが悪い場合は中の熱交換器やファンにカビ生えて送風量が弱っていることがある。
- ・エアコンの風切音が「サ～サ～」と音を出し始めたら要注意！ フィルター詰り、掃除が必要。
- ・新しく買い替える時は部屋の広さだけで選ぶでなく、断熱や窓の位置など、部屋の造りに合ったものを選ぶ。
- ・夏の暑い部屋に入るときは、エアコンをオンする前に窓を開けて、出来れば扇風機等で熱気を外に出した後につける。(車が暑いとき、乗る前に窓を開けて熱気を追い出すのと一緒)
- ・子ども部屋には一番性能の良いエアコンを！省エネ度、お手入れ機能、空気清浄、酸素濃度など付加機能も考慮(子ども部屋は安いのでいい！とよく言われるが、子どもは好き放題使うため後々必ず高くつく！)
- ・暖房時は温かい空気が天井へ溜まるので、扇風機で攪拌してやると温度むらが防げ、冷房時の扇風機利用は、冷風を起こし涼感を高めることができる。
- ・送風がカーテンボックスに遮られたり、エアコンの前にたれ壁があり、設定温度にならないという例もある。風をさえぎるものがないか風の流れを確認。ガラス窓は熱を通し易いので厚手のカーテンを出来れば床まで。

◆冷蔵庫を上手く使うコツ

- ・冷蔵庫の中身はある程度隙間があいている方が冷気の流れがむらなく冷える。
- ・反対に冷凍庫はしっかり詰まっていた方が良い。
- ・最近の冷蔵庫は200～300Lより400～500Lの方が技術開発に注力され、省エネ性能が高いものがある。
- ・壁との隙間を空ける、機械室の周辺、特に空気の出入り口部分はマメに掃除し通気を良好に。
(ファン使用の機種は特に配慮が必要)

◆その他のコツ

- ・テレビや照明にはタイマー機能がついているものがある。
点灯したまま寝ることがある方は、タイマー利用で熟睡ができ、無駄なエネルギーも減らすことができる。
- ・最近の洗浄便座は、人感センサーで入った瞬間に便座を温め温水も作る優れものがある。これだけでも随分エコ。
- ・自動食器洗い機は、節水と給湯に伴う光熱費削減、熱湯による油落としや殺菌効果、さらには時間節約にも繋がる最たるエコアイテム。
- ・使えばお得な機能が付いていても使われていないことが良くある。機械の機能・性能をしっかり理解すること。

◆大原さんより一言

家電はお手入れして環境を整えて、いつもいい状態にしておけば
ご主人さまの想いに応えてくれます。ぜひ大事にしちゃってください。